



広島西南 ロータリークラブ 会報

No. 1309号



ひろしま日本語教室 蕎麦打ち体験 (2頁に記事掲載)



2025-2026 RI Message

2026年 **2**月

平和構築と紛争予防月間



国際奉仕 ひろしま日本語教室 蕎麦打ち体験

国際奉仕委員会 岩田智博

令和8年2月7日土曜日に、ひろしま日本語教室の学習者の生徒とボランティアスタッフ47名と西南ロータリークラブの会員23名で、紙屋町シャレオ内の紙屋町スウィングにて、蕎麦打ち体験の事業を実施いたしました。

前日の準備も夜の9時となり、翌朝の6時から村中会員が予備の蕎麦打ちを行い、準備を整え、10時30分に会長挨拶から蕎麦打ち体験をはじめ、ひろしま日本語教室の学習者とボランティアスタッフの皆様を楽しみながら体験していただきました。

その後、自分たちで打った蕎麦と村中会員が打った蕎麦の食べ比べで、同じ材料でも味が変わる体験や、日本酒も用意し味わっていただき、お酒も入った事で今まで以上に学習者とボランティアスタッフ、西南ロータリークラブ会員のコミュニケーションも図れ大変盛り上がりしました。

ひろしま日本語教室の代表の光原様から「学習者とボランティアスタッフみんな、楽しんで喜んでいました、この体験を次回の学習テーマにします」と感謝されました。



会長時間

第1798回例会 2月3日

「10年会と会員増強について」

皆さん、こんにちは。

本日も2月の例会にご出席いただき、ありがとうございます。

今日は、先日開催された10年会についてお話しさせていただきます。毎回ゲストを迎えて開催していますが、今回はたまたまゲストがいなかったのが10年会の在り方について皆でざっくばらんに議論しました。

その中で、そもそも会員増強ありきではなく、お互いの良さを再認識すべきで、何が西南ロータリークラブの良さなのか？入会してから自分自身の成長はあったのか？自信を持って人に説明できるのか…など、改めて考えるきっかけとなる会員増強理事・伊藤さんの熱い発言に、皆ハッと感ずることがあったと思います。熱い熱い伊藤さんに改めて感謝申し上げます。とは言え、色々な考え方もあるのも事実です。答えは一つではありませんが、様々な意見を聞き議論を交わすことは非常に大事なことだと思います。

さて、10年会の生みの親である岩田会員によると、10年会の定義は「10年後も信頼できる友として、食事をしたり仕事の依頼をしたりできる仲間づくりの場にしよう」と結成した」だそうです。また「そんな素敵な関係ができる会だからこそ、ゲストを呼んで仲間の輪を広げていこう」と。私自身も、ついついゲストを呼ぶことが先に来たと反省した次第です。ロータリーで素敵な人と知り合い、そして友をつくれたクラブの良さを知っているからこそ、「ちょっと来てみない？」と気軽に声掛けすべきだなと改めて思いました。

入会する理由は人それぞれあると思いますが、今一度原点に戻って一緒に楽しみ一緒に成長できる人を想像しながら「ねえねえこんな集まりあるけどどう？」とまずは声掛けからはじめてみませんか。広島西南ロータリークラブの良さである、派手さはないけど顔の見える関係が更に広がることを期待して、会長時間に代えさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いたします。

第1799回例会 2月17日

「平和構築と紛争予防月間について」

皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

2月はロータリーの「平和構築と紛争予防月間」です。このテーマを聞くと、「国と国の争い」「戦争」「遠い世界の話」と感じられる方もおられるかもしれませんが。しかし私は、この平和構築というのは、もっと身近なところから始まるものだと思っています。

広島は、世界で初めて原爆が投下された地です。私たちは「平和」を語る時、どうしても過去を振り返りますが、ロータリーが目指す平和は、過去を忘れないことと同時に、未来をどうつくるかだと思います。

ロータリーでは、「紛争は突然起こるのではなく、小さな分断や対立の積み重ねで生まれる」と考えています。つまり、紛争予防とは、対話をやめないこと、相手を理解しようとすることです。これは、私たちの日常や仕事、地域活動の中でも全く同じではないでしょうか。会社の中、家庭の中、地域の中でも、すれ違いや誤解が積み重なると、大きな対立になります。

ここで、SDGsとの関係について少し触れたいと思います。

SDGsの目標16は、「平和と公正をすべての人に」強固な制度をつくり、誰一人取り残さない社会を目指す、という目標です。これは決して国連や政府だけの話ではありません。地域で信頼関係を築くこと、弱い立場の人の声に耳を傾けること、そして公正なルールを守ること。こうした積み重ねそのものが、SDGsであり、ロータリーの考える平和構築だと思います。

また、教育、障害者雇用、職業奉仕、青少年支援—私たちがクラブとして行っている活動の多くは、紛争を未然に防ぐ社会づくりにつながっています。

「平和とは、戦争がない状態ではなく、人と人が尊重し合える状態である」私はそう感じています。広島西南ロータリークラブが地域で果たす役割は、決して派手ではないかもしれませんが、しかし、顔の見える関係をつくり、信頼を積み重ねることこそが、平和構築の原点です。

2月のこの月間を機に、「自分の仕事は、どんな形で平和につながっているのか」「この地域で、私たちは何ができるのか」そんなことを一度立ち止まって考える時間にしていただければと思います。

ロータリーの奉仕は、世界平和への遠回りのようで、実は一番の近道です。本日もどうぞよろしくお願いたします。



例会記録

第1798回例会

2月3日

12:30~13:30 ANAクラウンプラザホテル広島

国歌・われらの生業

会長時間

新会員入会式

木原全弥 会員

紹介者：宮崎真 会長・徳納武使 会員

ご紹介に預かりました、木原でございます。

今日は、西南ロータリークラブの皆様の前に立ち、ご挨拶をさせていただく機会を賜り、誠に光栄に存じますとともに、緊張しております。

また、私事ではございますが、今日は、宮崎様、徳納様のお2人より、身に余る過分なご紹介をいただき、大変恐縮しております。心より感謝申し上げます。

宮崎様とは、同じ年に青年会議所（JC）へ入会し、同期として様々な活動をともにした仲でございます。また、徳納様とも同じくJCでご縁をいただき、さらに同じ塗装業界ということもあり、若い頃から公私にわたって温かく気にかけていただいております。

仕事の方は、塗装工事の専門工事業を営んでおります。塗装と申しましても様々なジャンルがございますが、主に建築塗装として、新築物件の塗装や、建物の大規模な改修工事などを手掛けております。

社業以外では、一般社団法人日本塗装工業会という団体で支部長を務めさせていただいており、業界の発展のために微力ながら活動しております。

このたび、ご縁により、晴れて西南ロータリークラブの末席に加えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今後は、ロータリークラブの活動を通じて、諸先輩方や皆様との新たなご縁を大切に育んでいきたいと存じます。また、活動を通して様々なことを勉強させていただきたいと考えております。

何分、不慣れな点多々ございますが、皆様のご指導ご鞭撻を賜りながら、精一杯務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



誕生月記念品贈呈

小林伸行 会員

皆さま、今日は誕生月のお祝いをいただき、誠にありがとうございます。

広島西南ロータリークラブに入会して以来、こうして温かく迎えていただけることに、改めて感謝の気持ちを感じています。

2月23日で52歳を迎えます。50代に入ってから、若い頃とはまた違った意味で“時間の大切さ”を意識するようになりました。

仕事でも家庭でも、そしてロータリー活動でも、一つひとつのご縁や経験を丁寧に積み重ねていきたいと感じています。

クラブの皆さまから学ぶことは本当に多く、年齢を重ねることが“成長の機会”になるのだと実感しています。

これからも微力ながら、奉仕の心を忘れず、皆さまと共に歩んでいければ幸いです。

子どもに52歳になるどうしようって伝えたら、ご自由に（52）と突っ込まれました。（笑）

本日はこのような機会をいただき、心より御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。



西田英俊会員 休会復帰挨拶

昨年4月17日の朝、目が覚めると体が動かないことに気づき、家族に救急車を呼んでもらい、広島市民病院に搬送されました。検査の結果、脳腫瘍があることと、腹部に大きな腫瘍があることが分かり、緊急の腹部腫瘍摘出術、脳腫瘍に対しては4回の放射線治療にて事なきを得ました。詳細な検査の結果、悪性リンパ腫のステージ4であることが判明し、化学療法を2クールほど行ったところ、寛解となりました。

悪性リンパ腫は再発しやすいとのことで、再発予防と根治のために「自家末梢血幹細胞移植」を行うこととなり、その前段階として大量抗がん剤の化学療法を受け、昨年11月に同移植手術を受けました。予後は順調であり、がんは消滅しておりますが、現在でも抗がん剤の後遺症が残っております。

病気療養中は、様々なアクシデントに見舞われつつも、従業員が自分の守備範囲をしっかりと守ってくれていたこともあり、また、入院治療と退院を繰り返し、



退院時にフォローを行うことで、仕事への支障はさほど出ませんでした。先日も担当医から「仕事を辞めてなかったんですか？」と驚かされていました。

昨年の病気発症以降、様々なことを考えさせられました。自分が死んだ後の手続き、業務、会社の引き継ぎなどです。また、家族や関係先をはじめ様々な方からの励ましもあり、無事に乗り越えることができました。しかしながら、不幸に見舞われている時には、さらに追い討ちをかけるような出来事も起きるのだなと痛感した出来事もありました。昨年12月に突然伝えられた、共同経営者からの会社解散の申し出です。

私は、お世話になっているお客様や従業員の雇用を守るため、会社の解散には断固として反対し、一人役員で会社を存続することにしました。会社を守り、さらに経営基盤を強固にするためにこの年末年始、具体的な対策を構築しました。まず、財政基盤を安定化させるための融資や、私が経営する関連会社との連携強化、従業員の定着のため退職金制度の創設、テレワークを強化し家庭を守りながら業務に対し自立心を持ってもらうこと、会社名も変更予定です。

去年起きた様々な出来事を、今年は災い転じて福となす年にしたいと思います。人間万事塞翁が丙午、私はちょうど今年年男であり、丙午なので火のように突っ走り、それこそ馬車馬のように働いて働いて働いて参ります。

しかしながら、強烈な抗がん剤後遺症に悩まされており、日中は元気ですが夜は体調が悪くなります。例会をはじめ昼間の職業奉仕には励ませていただき、夜間の会合はもう少し体力が回復してから、、、ということでしょうか、皆様よろしくお祈りします。



幹事報告

ロータリーレート変更の案内（156円→154円、2月より）。／BOX配布物の案内（会報、友誌、抜萃版（クマヒラ・ホールディングスより）、事業計画書追加シール、ロータリー財団及び米山奨学会寄付領収証、4月29日開催2025-26年度広島14RC合同懇親ゴルフ大会案

内、8月31日開催フォレストチャリティーコンサート案内、ひろしま日本語教室との蕎麦打ち体験・西南の集いIN京都・台北国際大会の各連絡事項（行事連絡事項は参加者のみ配布）。／2月7日（土）日本語教室との蕎麦打ち体験の案内（10時～シャレオ紙屋町スウィング、西南ベスト、エプロン、タオル、マスクを持参のこと）。／2月13日（金）18時30分～広島芸州本店にて広島廿日市RCとのインフォーマルミーティング開催の案内。／2月15日（日）14時～広島コンベンションホールにてインターシティミーティング開催の案内。／例会終了後第8回理事役員会開催。

スマイルボックス

西田英俊 会員、児玉栄威 会員

出席報告

会員数 63名 出席 53名 欠席 10名
来客 0名 来賓 0名
ゲスト 1名

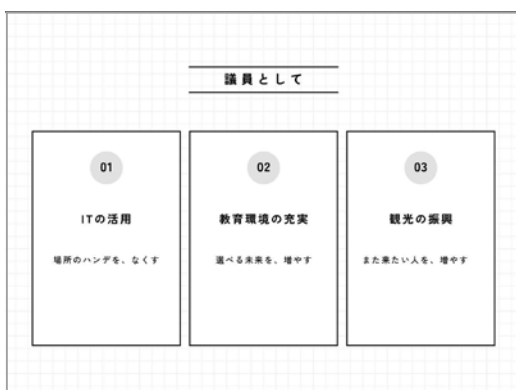
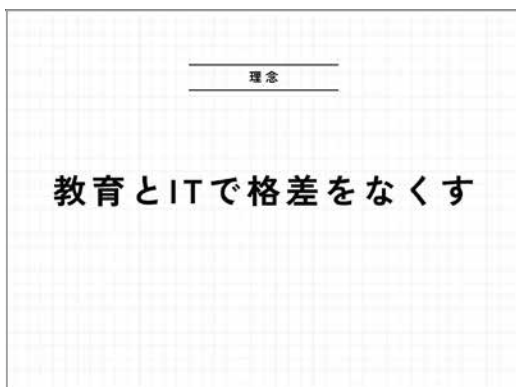
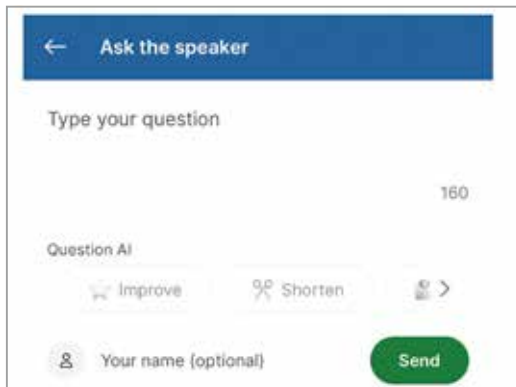
プログラム

衛星クラブ会員卓話

「江田島の未来」

衛星クラブ 安西翔平 会員
(江田島市市議会議員)





奉仕の理想

四つのテスト唱和

会長時間

結婚記念月記念品贈呈

穴井茂 会員

今日は、私事ではございますが、結婚35年という節目を迎えたことについて、少しだけお話しさせていただきます。



振り返りますと、本当にあっという間の35年でした。

子ども3人に恵まれ、今では孫も3人。家族が増える喜びの一方で、責任もまた増えていきました。子育てに追われていた頃、実の母の介護が始まりました。週末は広島と大分を往復する生活。ようやく落ち着くかと思えば、今度は妻の母の介護が始まり、広島と山口を行き来する日々。子育て、介護、仕事。どれも手を抜くことはできません。

正直に申し上げれば、心にも時間にも余裕はありませんでした。経済的にも決して楽ではなかったと思います。しかし今振り返ると、あの12年間は、「大切な時間」だったと感じています。

親の介護を通じて、最後の時間を寄り添うことができたこと。言葉にならない感謝を受け取り、また、伝えることができたこと。それは何ものにも代えがたい経験でした。

そしてこの経験は、今の私の仕事にも確実に生きています。

相続や事業承継、高齢期の不安に向き合うお客様の気持ちが、自分事として分かるようになりました。

介護は大変でしたが、親への感謝の心は、今も絶えることがありません。

そして何より、その全てを共に乗り越えてくれた妻には、心から感謝しています。

今、私はシニア世代となりました。健康でいること。家族に迷惑をかけないこと。それがこれからの責任だと感じています。

認知症対策として、カラオケ、社交ダンス、太極拳など、新しい挑戦も始めています。

身体を動かし、声を出し、仲間と笑い合う。それが人生後半の“精進”だと思っています。

35年はゴールではなく、これからのスタート。感謝を忘れず、健康を守り、家族と社会に恩返しできる人



生を歩んでいきたいと思えます。

ご清聴、誠にありがとうございました。

幹事報告

BOX配布物の案内（3月8日（日）台北新東RC・広島西南RC友好記念梅林清掃案内、3月10日（火）第2回ロータリー情報&職業奉仕委員会合同GM案内、3月10日（火）オープン例会案内、3月24日（火）花見家族夜間例会案内、西南の集いIN京都プログラム（参加者のみ）。／2026-27年度ロータリー手帳申込みを回覧。

スマイルボックス

宮崎真 会長、新井務 会員

出席報告

会員数	63名	出席	44名	欠席	19名
		来客	0名	来賓	0名
		ゲスト	1名		

プログラム

外部講師卓話

「支援を受ける存在から、
地域を共につくるパートナーへ
～医療的ケア児と共に描く、
ユニバーサルな社会デザイン～」

全国医療的ケアライン（i-Line）代表
ミコクラス合同会社 代表

村尾晴美 様

皆様、こんにちは。本日は、広島西南ロータリークラブの歴史ある例会の場にお招きいただき、誠にありがとうございます。只今ご紹介にあずかりました、村尾晴美と申します。

私は現在ここに記載されている役職を担い活動しており、その中で二つの組織の代表を務めております。一つは、全国の医療的ケア児者とその家族をつなぐ「全国医療的ケアライン（i-Line）」です。もう一つは、母親たちの「困りごと」をプロダクトやサービスとして形にする、「ミコクラス合同会社」です。

本日は、この二つの活動を通じ、私たちが目指している「誰もが生きやすい社会の設計」について、私の原点である息子との30年の歩みを交えながらお話しさせていただきます。

また、今日は経営者の先輩である皆様に、私たちが直面している「組織運営の課題」についても、少し本音でお話しできればと思っております。30分というお時間を頂戴しますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

まず初めに、皆様に知っていただきたい言葉があります。「医療的ケア児」という言葉です。日常生活を送る上で、たんの吸引や胃ろうからの栄養注入、人工呼吸器の管理など、かつては病院の中で行われていた医療行為を、自宅や地域で継続的に必要とする子どもたちのことを指します。

スライドのグラフをご覧ください。在宅で暮らす医療的ケア児の数は、平成17年から令和3年にかけて右

肩上がりが増えて続けています。推計値ではありますが、全国で約2万人。今まさに、これだけの子どもたちが地域のどこかで暮らしています。

なぜ増えているのか。それは、日本の医療技術が素晴らしい進歩を遂げたからです。かつてはNICUから出ることが難しかった小さな命も、今では救命され、自宅へ戻るができるようになりました。しかし、それは同時に、病院で行っていた医療的ケアを、家族が自宅で担うという現実を生み出しました。2021年には「医療的ケア児支援法」が施行されましたが、現場の課題は山積しています。

私がこの活動を始めた原点。それは、今から30年前に生まれた私の息子にあります。スライドの写真は、生まれた直後の息子の姿です。彼は妊娠25週、体重わずか889グラムで生まれました。1リットルの牛乳パックよりも軽く、大人の手のひらに乗ってしまうほどの小ささでした。

生後2日目に脳出血と肺出血を起こし、生後4ヶ月で脳梗塞が見つかり、「障害が残るでしょう」と告知を受けました。NICUの保育器の中にいる我が子を見つめながら、私は祈ることしかできませんでした。

退院後、想像を絶する育児が始まりました。呼吸の監視、チューブでのミルク、昼夜を問わないケア。社会から切り離されたような孤独感。しかし、そんな私を救ってくれたのは、地域の保健師さんや友人たちとの「つながり」でした。「NICUから始まったつながり」が、私を支え、今日までの30年間を歩ませてくれました。この感謝が、私の活動の原動力です。

個人の経験から始まった想いは、やがて社会的な活動へと広がりました。現在、私は二つの組織、いわば「2つのエンジン」を動かしています。

一つ目が、左側の「全国医療的ケアライン（i-Line）」です。

2021年に医療的ケア児支援法が施行されましたが、法ができて地域で実装されるためには、当事者の声を届け届ける役割が必要との思いから、全国47都道府県にそれぞれあった地域の家族会を繋ぐ役割として設立されました。発起人のお一人は医療的ケア児の実情を取材したことで課題を感じライフワークとして係わってくださったNHKのアナウンサーさんの存在もありました。

現在、会員数は全国で4000人を超えました。これだけの規模になりましたが、私たちは保護者の声をストレートに伝える立場として、あえて任意団体として活動してきました。ただ、正直に申し上げますと、4000人のネットワークを維持し、国への提言活動を行うための資金は、寄付や単年度の助成金頼みです。次年度の予算立てには毎年四苦八苦しており、「社会的信用のためにも一般社団法人化すべきではないか」と、組織のあり方について日々悩んでいるのが実情です。

そして二つ目が、右側の「ミコクラス合同会社」です。ここで皆様に、私がなぜこの会社を作ったのか、その「真の目的」をお伝えしたいのです。

障害児の親、特に母親は、24時間のケアのために仕事を辞めざるを得ず、社会から孤立してしまうケースが非常に多いのです。そして、離婚率が高いのも事実です。

そんな不安定な状況にいる彼女たちは日々、命を守るための観察眼、医師との連携、予期せぬトラブルへの対応など、高度な「スキル」と「知見」を獲得しています。私は、この「ケアを通して得た知見やスキル」こそが、社会課題を解決するビジネスの種になると考えました。

ミコクラスは、単にモノを作る会社ではありません。子育てや介護で孤立している保護者が、その経験を活かして社会進出し、新しい働き方を創出するための場所です。彼女たちの持つ「特別な視点」にビジネスとしての価値を付け、対価を得られる仕組みを作る。それが、この会社のミッションです。

ミコクラスでのモノづくりの事例をご紹介します。視覚支援シート「kokoni-ne(ここに・ね)」です。開発のきっかけは、息子がお世話になっている歯科医師の先生の「困りごと」でした。「知的障害のあるお子さんに、言葉での指示が伝わらず治療が難しい」という先生の声。そして、保護者の方々にヒアリングをすると、やはり皆「歯医者さんで困っている」と言うのです。

そこで、「言葉ではなく、視覚的に伝える」ために開発したのが、この人型シートです。現在、二葉の里にある「口腔保健センター」でも導入いただき、「診察がスムーズになった」と大変好評をいただいています。

そして今、私たちは次のステップに進もうとしています。医療現場等でより衛生的に使えるよう、「不織布(使い捨て)」版の開発です。しかし、新しい素材での開発には資金が必要です。現在は、この開発費を捻出するために、助成金の申請準備に奔走しています。現場のニーズはある。あとはそれを形にする資金とリソースをどう確保するか。ここでも日々、挑戦が続いています。

こうした活動を通じて、私は皆様にお伝えしたいことがあります。医療的ケア児とその家族は、単に支援を待っているだけの存在ではありません。私たちは、社会の不便さを誰よりも敏感に感じ取る「課題発見のプロ」であり、皆様のビジネスパートナーになり得る

存在です。

その具体的な事例として、一つご紹介させていただきます。広島市の西区商工センターにある「泉美術館」をご存知でしょうか。実は、ミコクラスとして、泉美術館の設計や全体のコンセプトづくりに「バリアフリーアドバイザー」として参画させていただきました。

単に手すりをつけるといったハード面の話だけではありません。「車椅子のお客様はどのような動線で絵を見るのか」「どのような空間なら誰もが心地よいか」。当事者の視点を設計段階から取り入れることで、障害のある方だけでなく、高齢者の方、ベビーカー連れの方、すべての人にとって居心地の良い美術館をつくるお手伝いをさせていただきました。

このように、私たちの「困りごと」は、実は地域の「設計」の問題を解く鍵になります。企業が新しい建物をつくる時、新しいサービスを始める時。そこに私たちの視点を少し入れていただくだけで、その価値は「ユニバーサル」なものへと広がります。私たちは「支援される側」ではなく、地域を共にデザインする「パートナー」でありたいのです。

「皆様と、共に描く未来へ」

今日、この広島西南ロータリークラブの皆様とお会いできたご縁に感謝いたします。4000人の声を背負うiLineの運営のこと、新しいプロダクト開発の資金のこと、そしてバリアフリーアドバイザーとしての連携のこと。私たちの活動は、皆様のような地域経済を支えるリーダーのお力添えがあってこそ、前に進むことができます。

画面にはQRコードを表示しております。もし、「ウチの会社のあの設計、ちょっと見てくれないか」「組織運営についてアドバイスをしよう」そんな風に思っただけでしたら、ぜひお声がけください。

ご清聴、誠にありがとうございました。



● 自己紹介



村尾 晴美

ミコクラス合同会社 代表

- 広島県医療的ケアライン 代表(2022年～)
- 全国医療的ケアライン 代表(2025年～) (2023～25年副代表)
- 全国重症心身障害児を守る会中国ブロック 理事
- 広島県重症心身障害児(者)を守る会 理事
- 広島市心身障害児者父母の会 常任理事
- 広島県自立支援協議会医療的ケア児等支援部会 委員
- 広島市重症心身障害児者地域支援協議会 委員



まず、知っていただきたいこと：「医療的ケア児」とは

Definition

日常生活で、たんの吸引や着るうからの栄養注入、人工呼吸器の管理など、これまで医師や看護師が行ってきた医療行為を継続的に必要とする子どもたちのことです。

Key Fact

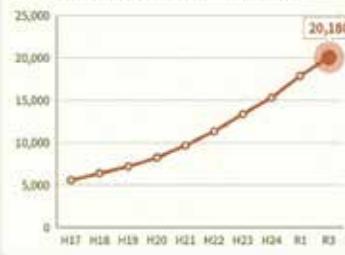
医療技術の進歩でNICUから自宅に戻る子どもたちが増え、その数は全国で約2万人、年々増加傾向にあります。

Legal Context

2021年に「医療的ケア児支援法」が施行され、社会全体で支えることが定められました。



在宅の医療的ケア児の推計値 (0~19歳)



母親の「困った」から生まれたユニバーサルな価値

視覚支援シート「kokoni-ne」

息子の偏科治療の際、「ここに寝てね」と伝わらないもどかしさから発想。言葉での指示が難しい方にも、「人型」の形状で直感的に行動を促すシートを開発。

障害児のために生まれた製品が、今では認知症の高齢者や、日本語に不慣れな外国人の方にも役立つユニバーサルな価値を生んでいます。



私の原点：息子との30年、NICUから始まった「つながり」

誕生：25週 889グラム

生後2日目：脳出血、肺出血

生後4ヶ月：退院前検査で脳梗塞が見つかり、障害が残ると告知される



退院後、想像以上の育児が始まる。しかし、保健師や友人など、地域の人々との「つながり」に救われた。

「個人の課題」が、「社会の価値」に変わる瞬間

Case Study: 視覚支援シート「kokoni-ne (ここにね)」

The Origin Story

箇の治療台などで、どこに体を合わせればいいのか分からず不安になる。そんな息子のための「ここに寝てね」という視覚的なガイドから生まれました。

The Reveal

このシートが、実は認知症の高齢者の方や、日本語に不慣れな外国人の方にも「どこに座ればいいのか」「何をすればいいか」を伝え、安心感を提供できることが分かりました。



課題解決の2つのエンジン：当事者の声と、事業化の力



NPO法人 全国医療的ケアライン (i-Line)

役割：声とアドボカシーのエンジン
全国47都道府県の当事者の声を国・自治体へ届けるネットワーク。政策提言や実証調査を行う。



ミコクラス合同会社 (Micocras LLC)

役割：行動とイノベーションのエンジン
現場の「困りごと」をプロダクトやサービスとして実装する事業体。ケア経験を持つ母親たちの雇用も創出。

「声を聴く」ネットワークと、「形にする」ビジネス。この両輪で、制度の隙間を埋めていきます。

一人のための解決策が、みんなの解決策になる

「家族の困りごと」は、実は「社会全体のユニバーサルな課題」を解決するヒントだったのです。

医療的ケア児



見通しが立ち、安心して治療を受けられる。

高齢者・認知症の方



口頭での指示が理解しにくい場合でも、次に何をすべきが視覚的に理解できる。

外国人の方

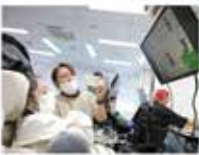


言葉の壁を越え、直感的に行動を促すことができる。

【エンジン①】全国医療的ケアライン：47都道府県をつなぐ声のネットワーク

1. つながりづくり・情報交換

Zoomを活用したオンライン勉強会や交流会を定期開催。



2. 社会への発信・政策提言

国の省庁有識者会議や自治体の協議会へ参加し、現場の声を届ける。実証調査や白書を作成し、課題を可視化。



3. 全国フォーラムの開催

年に一度、全国の当事者・家族・支援者が集い、リアルでつながる場を創出。



24時間365日のケア経験は、「キャリア」になる



The Vision:

ミコクラスでは、障害児者を育てるお母さんたちを「課題解決のプロ」として雇用しています。

The Value Proposition:

※「働くこと」は収入だけでなく、社会とのつながりや自分の役割を再確認する手段です。
※ 家族のケア経験を、社会から隔離される理由ではなく、新たな価値を生む力に変える。

Conclusion: 子どもの自立と、親自身の自立。その両方を社会が支える仕組みが必要です。

子どもの自立と、親の自立



- 医療的ケアのある子どもたちが自分らしく成長し、自立していくことと同時に、親である私たちも自分自身の人生を歩んでいく必要があります。
- その思いから、障害児者を育てる母親たちと共に「ミコクラス合同会社」を設立しました。
- 「働くこと」は収入だけでなく、社会とのつながりや自分の役割を再確認する大切な手段です。
- 母親たちのケアの経験やスキルを、社会の課題解決に繋げる仕事づくりを目指しています。



支援を受けるだけの存在から、地域を共につくるパートナーへ



The Proposal:

医療的ケア児とその家族は、社会の不便さを誰よりも敏感に感じ取り、新たな価値を提案できる「課題発見のプロ」です。

Call to Action:

・地域の皆様へ：皆様の事業や市民と、私たちの課題の声を掛け合ってください。

・専門職の皆様へ：制度を「届ける人」「ともに考える人」になってください。情報だけでなく「対話」を届けてください。

私たちが、地域の皆さまへ：視点を変える、一つの提案

困りごとは、個人の問題ではなく、地域の「設計」の問題。

医療的ケア児とその家族は、支援されるだけの特別な存在ではありません。皆さんと同じ地域で暮らす生活者です。少しの工夫や設計の見直しで、誰もが参加しやすい社会は作れます。私たちは「支援される側」ではなく、一緒に地域を良くしていく「パートナー」でありたいと考えています。

皆さまと、共に描く未来へ

今日この出会いが、子どもたちや家族の声を届け、共に歩む輪を広げていく第一歩になることを願っています。

声を集め、つなぐ



<https://www.i-line.jp/>

声を形にし、解決する



<https://kokoni-ne.jp/>

ご清聴ありがとうございました。

私たちが目指す未来：すべての人が、地域の風景の一部になる社会



障害があってもたくさんの可能性と力を秘めています。その力を引き出すために必要なのは「選択肢」です。

障害があってもたくさんの可能性と力を秘めています。その力を引き出すために必要なのは「選択肢」です。

特別なことではなく、皆さまが地域でされている活動の延長線上に、私たちが共に参加できる余地があります。



スマイルボックス

2月3日

西田英俊 会員 昨年4月以来、病気療養のため休会させていただいておりましたが、2月より復帰させていただきます。ご心配をおかけしました。

児玉栄威 会員 皆様にご愛顧いただきました、コローリを1月31日をもって閉店しました。2年弱の営業でしたが、皆様の友情に感謝し、出宝します。ありがとうございました。

2月17日

宮崎真 会長 広島経済レポート、経済レポートに掲載していただきました。また本日ボックスに「規格外野菜のサブスク事業」のクラウドファンディングのチラシを入れさせていただきます。ぜひご協力をお願いいたします。

新井務 会員 ANAクラウンプラザホテル広島より 皆様のボックスに、3月開催のイベント・「春の桜花ディナー～桜の音 和JazzNight～」・「桃李×ヴィノープルヴィンヤード特別賞味会」のご案内を入れさせていただきます。ご不明な点がございましたら、ホテルスタッフまでお気軽にお尋ねください。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

2月の会員記念日

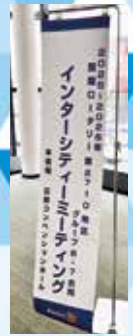
会員誕生日		結婚記念日		創 業 月				
曾里 裕	9日	穴井 茂	1日	杉川 聡	17日	深谷 泰之	(株)中広商事	H12年
佐々木 宏	18日	漆原 健夫	4日	荒木 攻	21日	平石 雅史	プルデンシャル生命保険(株)	S63年
水谷 耕平	19日	勘田 泰邦	11日	佐古 雄司	26日	橋本 幸範	橋本法律事務所	H20年
小林 伸行	23日	上野 良祐	11日	田中 朋博	28日	岡本 俊雄	岡本電機(株)	S10年
荒木 攻	28日					岡本 泰明	(株)TOBIRA	R 3 年
						佐々木 宏	ヒサゴ食品(株)	S22年
						曾里 裕	広島ネームプレート工業(株)	S21年
						山國 豊	(株)しろがねや	H 5 年
						西田 英俊	ソアレ社会保険労務士法人	R 4 年
パートナー誕生日		入 会 月						
漆原 健夫夫人	貴子様 4日	山國 豊	H26年					
勘田 泰邦夫人	友美様 11日	水谷 耕平	H27年					
佐々木 潤夫人	聡子様 13日	尾崎 順也	R 2 年					
小林 伸行夫人	知華様 17日	深谷 泰之	R 2 年					
穴井 茂夫人	恵子様 21日	穴井 茂	R 5 年					
		寺西 浩一	R 6 年					

2025-2026 年度 国際ロータリー第 2710 地区 グループ 6・7 合同インターシティミーティング

2月15日（日）
広島コンベンションホール 14：00スタート
広島西南RC 24名
衛星クラブ 10名



講師 中島岳志様



廿日市インフォーマルミーティング

2月13日（金）
広島芸州本店 18：30スタート
広島西南RC 21名
廿日市RC 10名



真倫倶楽部 2月例会

令和8年2月22日、吉島ボートパークより7時に出港し、大向沖にて五目釣りを実施しました。当日は天候・海況ともに良好で、安全に配慮しながら楽しく釣行することができました。釣果はマダイ、カサゴ、ベラ、アジなど多彩で、五目釣りの魅力を十分に味わうことができました。また、釣り上げたフグは船長により丁寧にフグ刺しとして調理していただき、新鮮な味わいを堪能しました。昼食は船上にてバーベキューを行い、食材を囲みながら会員同士の親睦を深めることができました。帰りには釣ったフグの開きも頂いて、自然の恵みに感謝しつつ、大変有意義で思い出に残る釣行となりました。今後も安全第一で、楽しく充実したクラブ活動を続けてまいります。



（山國豊 会員）

2025-2026年度 第8回理事・役員会 議事録

日時：2026年2月3日（火）13：40～
場所：ANAクラウンプラザホテル広島
4F「アマリス」

出席者（敬称略：順不同）

宮崎 兎玉 徳納 岡本（倫） 栗田 伊藤
根石 山國 平原 田中 小林 原屋
オブザーバー 尾崎

出席（12名）オブザーバー（1名）

開会挨拶

宮崎会長→今回から急遽次年度幹事予定者の尾崎さんが、引き継ぎを円滑に進めるためオブザーバーとして理事会に参加します。今年度のみ対応です。会員状況については、西田会員が復帰し、木原会員が新たに入会しました。今年度は退会3名、入会2名となっていますが、まずは会員数を早期に増やすことを目指します。さらに、もう1名の入会が見込まれています。新会員の情報があれば共有をお願いします。

配布資料 ★印

審議事項

- (1)3・4月プログラム★岡本（倫）→資料に沿って説明 承認
- (2)花見家族例会予算★岡本（倫）→会場変更により当初より予算削減 承認
- (3)メーキャップについて（クラブ細則変更）★田中→資料に沿って説明 次回、幹事会務報告で報告
- (4)3月オープン例会について宮崎→例年、複数回のオープン例会を開催しているが、今年度については8月の平和例会をオープン例会として実施した後、追加の企画が十分に調整できていない状況である。田中食品様への職場訪問をオープン例会として位置づける案もあったが、締切の関係により実施には至らなかった。今後のスケジュールを踏まえると、3月10日に岸田翔太郎氏を招いて開催する例会をオープン例会として設定する案が検討され、当日の内容については、政治的に偏った印象を与えないよう十分に配慮し、客観的なテーマ設定とする必要があるとの意見が示された。特段の異論はなく、この方針に基づき案内文を作成し、会員へ周知する。

報告事項

- (1)1月度会計報告 ★ 根石（会計）→1月度の一般会計は、RI・地区負担金の半期徴収に伴う収入が計上され、支出は概ね予定通りで問題はない。IM・西南の登録料など、先払いによる仮払金が一時的に増えているが、通常の範囲内。スマイルボックスは月額目標13万円に対し、1月は約8.8万円と下回った。例会数が少なかったことが要因であり、2月以降の協力を求める。AirPayの1月入金は手数料控除後で3,861円。100万ドル食事会分も含め、会計処理に問題はない。

- (2)ひろしま日本語教室と蕎麦打ち体験 ★田中（奉仕）→参加者は24名
- (3)IM最終参加申込状況 ★田中（幹事）→登録者76名、会議47名、懇親会42名
- (4)西南の集い参加申込状況（2月20日（金）～22日（日））★田中（幹事）→延べ参加状況報告。
- (5)メーキャップについて ★田中→規定を確認したところ、第10条「出席」において、これらのクラブの例会出席もメーキャップとして認められることが明記。当クラブとして規約変更の必要はなく、今後はこれらの活動もメーキャップ対象を会員へ周知する。
- (6)出席免除（佐藤克則会員）承認済み（既報）
- (7)40周年記念事業の進捗報告 ★兎玉（副会長）→1月19日に第7回40周年記念事業実行委員会を開催、宮島の案内板の調整はあるものの順調に進んでおり、3月末までに許可取得後、施工に入る見込みである。チャリティーコンサートについては、中国新聞社との共催が決定。事前告知・開催後の記事掲載・広告掲載などの協力が得られることとなった。チケットは1,200枚を予定しており、販売に期待が寄せられている。平和公園内事業については、当初検討していたゴミ箱設置を取りやめ、別案を引き続き検討。また、当日の案内や運営体制については今後具体化を進める。本日、実行委員会幹事より会員向けのチケット先行販売案内を配布しており、積極的な協力を求める。コンサートは高齢層にも訴求力が高く、動員が見込めるとの見解が共有された。さらに、中国新聞社による記事掲載、広告当日の取材、読者組織でのチケット取り扱いなど、多方面での広報協力が得られる見通し。イベント運営は専門会社が担当し、他イベントでのチラシ配布など追加の告知も行われる。以上の通り、40周年記念事業は順調に準備が進んでおり引き続き会員の協力を求める。
- (8)米山奨学生の受入、米山学友会賛助会員の支払い ★田中→本年度、広島西南ロータリークラブで米山奨学生を受け入れることが決定。クラブとしてカウンセラーを選任する必要があり、選任者は4月19日にホテルグランヴィア広島で開催されるオリエンテーションへの参加が求められる。また、例年通り、奨学生が行事へ参加する際には、可能な範囲で同行をお願いする。今回の奨学生は、広島女学院大学に在籍するベトナム出身のゴージェーリン氏で、西区在住。カウンセラーの決定は2月24日までに行い、確定次第報告する。併せて、米山学友会賛助会費については、理事1名あたり3,000円の負担とし、理事会承認済みの総額39,000円を取りまとめて納付する。
- (9)その他、各理事役員報告 山國→米山奨学生の卓

話については、6月第1例会で実施する方向で調整が進んでおり、日程を確定する予定である。また、候補者として挙がっている卒業生についても、詳細を確認のうえ検討を進める。引き続き必要事項を調整していく。栗田(尾崎)→委員会より、衛星クラブが現在ホームページを作成中であるとの報告があり、システム上問題がなければ、広島西南ロータリークラブのホームページに衛星クラブへのバナーを設置し、相互に閲覧できる形とする案が示された。これにより、双方の活動をより広く周知できることが期待される。ホームページの制作は安西会員が引き継いで進めており、内容の正確性を確認したうえで、必要に応じて担当者間で調整を行う。公開前には水谷会員ら関係者による最終チェックを実施し、問題がなければ共有を進める方針。宮崎→第12回理事会について、昨年同様、会長による食事会を兼ねて開催したいとの提案。現在は昼例会後として予定されているが、最終理事会を夜間に変更したい意向が示され、出席者からも了承が得られた。開催日は6月2日とし、開始時刻は18時、会場は「平八ダイニング」を予定。

協議事項 なし

第9回理事役員会

3月3日 第9回理事役員会(現次合同)
18時00分～

場 所: ANAクラウンプラザホテル広島

講評 徳納直前会長→年度後半に入り事業が残っていること、また会員増強が依然としてマイナスである現状について言及。クラブ運営は会員数に支えられるものであり増強は委員長任せではなく会員全員で取り組む必要があるとの考えが示された。40周年事業については、広島西南ロータリークラブの存在感を示す機会であるため、成功に向けて会員の積極的な協力を求めた。特にチャリティーコンサートのチケット購入・紹介について支援を呼びかけた。また、衛星クラブが昨年度実施したリレー事業について、その後の経過が不明確なままになっている点が指摘され、ロータリーとして行う事業は責任をもって完結させるべきであると述べられた。最後に、40周年事業の成功に向け、引き続き会員の協力をお願いした。

閉会挨拶

児玉副会長→1月を終えて年度の後半に入り、残り短い期間であることに触れ、ここまでの会員・理事の労をねぎらう言葉が述べられた。次年度に向けて引き続き協力をお願いしたいとの意向が示された。

(議事録作成者: 小林伸行)

掲 示 板

3月行事予定

- ❖ 3月3日(火) 18:30～
第9回理事役員会(現次合同)
「ANAホテル広島22Fルミエール」
- ❖ 3月10日(火) 13:40～
第5回クラブ協議会
「ANAホテル4階カメラ」
- ❖ 3月10日(火) 18:30～
第2回ロータリー情報&職業奉仕委員会合同GM
「ANAホテル5階相生」
- ❖ 3月15日(日) 10:00～
2026-27年度会長エレクト&
地区チームラーニングセミナー
- ❖ 3月17日(火) 12:30～
創立40周年記念事業、第9回実行委員会会議
「ANAホテル」
- ❖ 3月20日(金・祝) 8:30～
地区ガバナー杯親善野球大会・開会式
「呉二河球場」
- ❖ 3月24日(火) 14:30～
在広RC第5回合同幹事会
「ホテルグランヴィア広島3F天平の間」
- ❖ 3月24日(火) 15:40～
第5回合同事務局運営委員会
「ホテルグランヴィア広島3F天平の間」

編集後記

2月を迎え、寒さの中にも少しずつ春の気配を感じる頃となりました。日差しのやわらかさに、季節の移ろいを実感いたします。

例会や奉仕活動を通じて、会員同士のつながりや地域の皆様のご大切さをあらためて感じる日々です。だんだんと暖くなる季節とともに、クラブの歩みもさらに前向きなものとなりますように。

(寺西 浩一)

2026年3月10日発行

発行	広島西南ロータリークラブ
[会長]	宮崎 真
[幹事]	田中 朋博
[事務所]	広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル13F TEL 082-221-4894 FAX 082-221-4870
編集	会報資料委員会

ひろしま日本語教室 蕎麦打ち体験

(2頁に記事掲載)

2月7日(土)

